特集　突然のコロナ
今できること

学校の臨時休業を受け、急遽スタート
コマラジこども月間

どんなときも、市民と繋がるコマラジでありたい。

番組実施期間：3/2（月）～3/25（水）15:00～15:55
内容：リクエスト曲、川柳、読み聞かせ、帰りの会
（市内小学校６校の先生が日替わりで登場）

コマラジパーソナリティ
諸熊さん
番組内で読み聞かせした『ももとこもも』『二番目の悪者』を手に

今年２月末、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、全国の小中学校、高校、特別支援学校に臨時休業が要請されました。日本中に混乱が広がるなか、狛江のコミュニティ FM「コマラジ」のスタッフ陣は、その翌日にミーティングを実施。「この機会に、子ども達にラジオを聞いてもらおう」と、新番組作りに動き出したのです。

驚くべきは、そのスピード感。企画立案からわずか２日後に「コマラジこども月間」が始まり、約１ヶ月間放送を続けました。番組内容は、曲のリクエストや川柳の募集、絵本の読み聞かせなど。市内の各小学校が持ち回りで行なった「帰りの会」の中継は、歌やクイズで子ども達を楽しませようとする先生方の取り組みが大人気となりました。

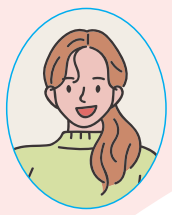
元々コマラジは、狛江の地域活性化や、災害時の防災拠点となることを目的に設立され、近隣の商店、小学校と連携した番組作りを行ってきました。「コマラジこども月間」を通じ、子ども達にラジオの面白さや、“ラジオで繋がる”という感覚を知ってもらうことができたといいます。

今回お話を伺った諸熊さんは、ボランティアスタッフとしてコマラジに関わり、ご自身も木曜日に子育て番組のパーソナリティを務められています。「今後はさらに、コミュニティラジオとして地域に馴染む存在を目指したい」と、熱い想いを語ってくださいました。

■2020年３～８月の狛江市立小中学校の動き

３月２日～	臨時休業（3月中に1,2回の登校日あり）
３月19日	中学校卒業式（簡略化、来賓・在校生の列席なし）
３月24日	小学校卒業式（簡略化、来賓・在校生の列席なし）
３月25日	小中学校修了式（校内放送による修了式）
４月６日	小学校始業式・入学式、中学校始業式（校庭）
４月７日	中学校入学式（校庭）
～５月31日	臨時休業（授業の動画配信実施）※配信アップロードは5／29まで
６月１～26日	分散登校（午前登校組と午後登校組に分ける）
６月29日～	通常登校
７月31日～	小学校終業式（8/1～8/23 夏季休業日、例年より約３週間程度短縮）
８月７日～	中学校終業式（8/8～8/23 夏季休業日、例年より約３週間程度短縮）
８月24日	二学期始業（通常登校）

リスナーの声
― コマラジこども月間に親子で参加 ―



コマラジリスナー
JJ さん

我が家の小学生は、リクエストで好きな曲が流れ、川柳が読まれて喜び、友達のリクエストや声が聞けると楽しんでいました。

先生もたくさん登場し、他校の様子が聞け、子ども達の日常を垣間見るようで良かったです。

「食」で生活を応援する
NPO法人フードバンク狛江

食品一つひとつに思いを込めて。

２月後半、ひとり親子育て応援として春休みの食料支援の準備を進めていたところ、コロナの影響で学校が臨時休業となり、春休みに行う予定の食料支援を前倒しで春休み前に行いました。

前年度に申し込みのあった世帯にメールで案内し、すぐに予定数の 67 世帯（高校生以下の子ども 104 名含む 186名）に達し、787.2kg（お米 245kg）の食品を提供。学校が休業となり、給食もなくなってしまったため、例年よりも早いペースで予定数に達しました。

ひとり親支援後、コロナによる困窮世帯支援も行いました。こちらは赤い羽根共同募金の助成を受け、市のホームページやこまえくぼのSNS等で募集し、３月後半～４月初めに 42 世帯に食料支援を行いました。

コロナ禍の中、どうやって活動を続けていけば良いか？ メンバー間での話し合いが続きました。コロナの影響で「仕事が減った」「収入が減った」というアンケートの声が寄せられていたので、活動は止められない、との思いから、メンバー全員での活動は控え、極力少ない人数での活動に切り替えました。食品を世帯毎にセットする作業（市の生活困窮相談窓口 こまYELL からの依頼書をもとに食料をセット）も通常では２～３人で行っていたものを１人で行い、活動時間を短くし、寄贈に来られた方の対応も部屋の入口で行っています。活動自粛で参加しないメンバーは、食品の提供時につける手書きのメッセージカードを作成したり、宅配便で寄贈してくださった方へ自宅でお礼状を書いたり、お米を分けるなどで活動を支えました。

「企業からの寄贈が増えて同一食品をたくさん寄贈していただけるのもありがたいのですが、個人からの寄贈も大切なんです」と語るフードバンク狛江の田中さん。コロナ禍、イベントが相次いで中止になり、公共施設の閉館時は寄贈受付場所が減ってしまったため、個人の方からの食品寄贈は減りました。６月以降、寄贈場所が再開となり少しずつ増えてきました。個人からの食品はバラエティー豊かになり、配布する食品のバランスが良くなります。ご家庭で眠っている賞味期限が１ヶ月以上の食品があれば、フードバンクへ寄贈をお願いします。

“こまえがお”流　コロナ川柳

広報部会では突然のコロナとその時の気持ちを、81句の川柳に詠みました。特選句を筆頭に人気投票上位を15選。

●川柳　特選句

コロナより
こころの敵は　人の圧

四中猪瀬校長が、休業明けに生徒・保護者に「コロナより怖いのは人の圧力」だとお話しされました。様々な制約を強いられるコロナ禍で、人を責める気持ちを助長されないようにしたいですね。

マスクして
化粧時間 短縮化

マスクでも
君の優しさ 瞳に映え

在宅で
新たな才能 発見す

３密を
３つの秘密と 勘違い

自粛解け
緩む心で クラスター

ドラえもん
ウイルス可視機
出してくれ

会えずとも
寄り添うハートの
ディスタンス

非常時に
気づく日常の 有難み

人に会い
目しか見えない 誰だろう

１００年後
マスク塚を 掘り当てる

いつまでも
距離を超えて 仲間思う

来てほしい
来てほしくない
来てほしい

貴方とは
今は逢えない 好きだから

ガラス越しの
面会風景 立ち尽くす